

第5回

お花見コンサート ご案内

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回で5回目となります実相院本堂でのコンサートを、下記の通り企画いたしました。今年には以前のコンサートで大好評をいただいた太鼓奏者の上田秀一郎氏が、ゲストに篠笛奏者“KOTO”氏を迎え、再び大迫力の演奏を致します。(両氏のプロフィールは別紙にございます。) 今年のコンサートは、実相院の八重桜の時期(例年の見ご



ろは4月中旬)を選んでみました。最近の天気予報では桜がだいぶ早く咲きそうなことを申しておりますが、こればかりは天にお任せです。心躍る春のひと時を皆様とご一緒させていただけたら幸いです。皆様のご来院を心よりお待ち申し上げます。

合掌
実相院住職

記

日 時：平成22年4月17日(土)

13:30 開場

14:00 太鼓&篠笛 演奏

15:30 終了予定

場 所：実相院本堂

チケット：大人 ¥2,000 (高校生以上)

子供 ¥1,000 (中学生、小学生。小学生未満は無料。)

※販売枚数 200枚。自由席。

購入方法：下記のどちらかの方法にてお求めください。

①実相院にて直接購入。

②電話(03-3386-2472)にて予約。

当日、受付にて代金と引き換え。

～ 出演者プロフィール ～

SYUICHIRO UEDA



神戸生まれ。阪神大震災後、被災地で激励演奏を行い、和太鼓の魅力に取り付かれる。8年間地元グループでの活動後、太鼓独奏者として活動を開始。和太鼓ソリストの林英哲に師事。「英哲風雲の会」のリーダーとして林英哲全国コンサートツアーに不可欠な出演者として地位を確保。2004年三枝成彰作曲、太鼓協奏曲「太鼓について」ペルー公演で現代曲のソリストデビュー。平成中村座(歌舞伎)、山下洋輔(ピアノ)、坂田明(SAX)、村治佳織(ギター)、稲本響(ピアノ)、藤原道山(尺八)、三響会(能、歌舞伎囃子)、松下功・三枝成彰(作曲家)、大駱駝艦(舞踏)、キム・ドクス(チャング・韓国)、その他多数共演。

KOTO



1982年生まれ。広島県広島市出身。5歳のころから、神楽団員である父親の影響を受け、師匠酒井敏治氏に神楽笛を習い始める。11歳のころからフルートを始める。15歳で北広島町苅屋形神楽団に正式に入団。笛をはじめ、大太鼓、小太鼓、手打鐘、舞も習得し、各地で神楽を奉納する。また入団以来、神楽競演大会で個人賞を受賞する。19歳のころから、独学で篠笛を始める。このころから琴、三味線、パーカッション、ピアノなど、様々な楽器とのセッションを開始。2006年5月には初の自主ミニアルバムを発表。中国重慶広島友好都市20周年記念式典では広島代表として広島国際会議場にて、神楽笛を披露。同年アメリカ・ボストンへ渡り、様々な場所で演奏活動・現地の人々との交流を持つ。

2007年帰国後、表現力豊かな笛が高く評価され、全国各地での演奏活動が盛んになる。また東京新国立劇場にて「舞踊組曲 母子慕情」にて史上初めて文楽の義太夫・三味線とのコラボレーションに参加。2009年Y150関連事業「海フェスタよこはま」の記念式典にて秋篠宮様ご夫婦の前で演奏を披露。日本宇宙開発機構jaxaのニュースのテーマ曲へ参加。2010年公開予定の東京国立博物館「洛中洛外図」の音楽に参加。また岡山備中神楽への楽曲提供・共演、その他コンテンポラリーダンスの音楽演奏など他ジャンルとの共演も多数。